

ふじしんからのお知らせ

令和9年2月に富士見台支店が**新築オープン**予定!!

完成イメージ

スケジュール

- ◆ 令和8年11月上旬 プレオープン
- ◆ 令和9年2月 グランドオープン

新しい店舗を
よろしくね♪

富士見台支店は、これまで多くのお客様にご愛顧いただきましたが、建物の老朽化に伴い、令和9年2月に旧店舗の西側に新築オープンを予定しています。

今後も、富士見台支店をよろしくお願いいたします。

「共通印鑑」への**切替**のお願い

当金庫では、お取引に関する手続きの簡素化およびお客様の利便性向上を図るため、令和8年7月からすべてのお客様につきまして共通印鑑の取扱いを開始いたします。

共通印鑑とは、下記の対象科目の全口座に共通するものとして1つだけ届けていただく印鑑です。

共通印鑑のお届けがないお客様には、新規口座開設・各種お取引・お届けに際して、共通印鑑への切替をご案内させていただきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、ご不明な点がございましたら、お取引店までお問合せください。

【対象科目：普通預金、貯蓄預金、納税準備預金、通知預金、定期預金、定期積金】

共通印鑑の
メリット

- ① 一度共通印鑑をお届けいただくと、以降の口座開設の際は、お届け印の押印が不要!
- ② お届け印が1つになるので管理がしやすい!

2026
Disclosure

富士信用金庫ディスクロージャー誌

当金庫のディスクロージャー誌(資料編)の閲覧に係るご案内

ディスクロージャー誌のうち、詳細な計数資料等につきましては、「資料編」として当金庫のホームページに掲載しておりますので、閲覧を希望されるお客様は、下記のホームページからご覧ください。

なお、インターネットの操作がわからないお客様、又はインターネットに接続できる電子機器(パソコン、スマートフォン等)をお持ちではないお客様は、別途ご案内いたしますので、お近くの店舗窓口までお申し出ください。

ふじしんLINE



ふじしん経営情報LINE



ふじしんホームページ ディスクロージャー
<https://fuji-shinkin.jp/about/disclosure.html>





目 次

- 2. ごあいさつ
- 3. ふじしんの概要
- 4. 役員・業務組織図
- 5. 事業の概況
- 7. トピックス
- 9. 人財育成
- 11. 個人のお客様へ
- 13. 事業者のお客様へ
- 15. 中小企業の経営支援と地域活性化への取組み
- 18. 金融仲介機能の発揮に向けた取組みについて
- 19. リスク管理体制
- 21. コンプライアンス
- 23. マネー・ローダリング・テロ資金供与・拡散金融対策への取組みについて
- 24. 金融ADR制度への対応
- 25. 総代会について
- 27. 店舗一覧
- 29. 沿革
- 30. 開示項目一覧

基本方針

地域社会の
繁栄に貢献する

地域経済の発展と地域住民の生活利便性向上に貢献することを第一に捉え、地域社会と共存繁栄の経営を目指します。

信用の高揚と
堅実経営に徹する

お客様から高い信用を得ることを目指すとともに、堅実経営に徹し競争力ある経営を目指します。

職場の明朗と
福利の増進を図る

職員が働きやすい明朗な職場環境づくりを目指します。



ふじしんマーク



末広富士

■ 安定と高さの形を象徴する富士山と水面を連想させる三つのブロックで構成されています。

■ 三つのブロックは、地元・お客様・富士信用金庫を指し、三者が一つになって末広に富士に向かって発展していく様を表しています。また全体の形は、地元に伝えられる「さかさ富士」を形どっており富士信用金庫の地域性を示しています。

■ マークの輪郭はそろばん玉を模しており、金融機関を表現しています。

ごあいさつ

平素より私ども富士信用金庫に格別のご愛顧お引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

本年も「ふじしん」へのご理解を深めていただきたく「富士信用金庫ディスクロージャー誌2026」を作成いたしました。本誌では当金庫の経営方針や業績、企業様や地域に対する取組みなどについて紹介しておりますので、ご高覧いただき、当金庫についてより一層のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

近年、地域社会を取り巻く環境は大きく変化しており、人口減少・少子高齢化の進展、人手不足の深刻化、物価上昇への対応に加え、デジタル技術や生成AIの急速な進展など、企業や地域社会が向き合う課題は一層複雑化しています。また、「金利のある世界」が本格化するなかで、地域金融機関には、これまで以上に地域経済の持続的成長を支える役割が求められています。

私たちの営業エリアである岳南地域においても、製紙業をはじめとする地域産業が、多くの課題と変革への対応を迫られている一方、地域には優れた技術や豊かな自然、挑戦する事業者の皆様など、多くの強みと可能性があります。

当金庫は、こうした地域の強みを未来につなげていくため、単なる資金供給者ではなく、お客様と共に考え、共に行動する「伴走支援型金融」を実践し、事業承継・M&Aや創業支援、販路開拓支援、資産形成支援など、お客様一人ひとりの課題解決に向けて、より質の高い金融サービスの提供に努めてまいります。

また、地域金融機関には、地域の様々な主体を結び付け、新たな価値創造を促す役割が期待されています。当金庫は、地域企業、自治体、商工団体、教育機関、支援機関などをつなぐ「地域のハブ」として、多様なネットワークを活かしながら、地域課題の解決と地域経済の活性化に取り組んでまいります。



地域の未来は、一つの組織だけで創ることはできません。だからこそ当金庫は、人と人、企業と企業、企業と地域をつなぐハブとして、地域全体の挑戦を支えるプラットフォーム機能をさらに強化してまいります。

こうした役割を持続的に果たしていくためには、私たち自身の変革も不可欠です。人的資本への投資や職員の専門性向上、DXの推進、生成AI等の先進技術の活用を通じて、生産性向上とサービス品質向上の両立を図り、お客様により高い付加価値を提供できる組織づくりを進めてまいります。

当金庫はこれからも、協同組織金融機関としての原点を大切にしながら、「地域社会の繁栄に貢献する」という基本方針のもと、地域社会の未来とお客様の持続的な成長に貢献してまいりますので、今後とも変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

末筆とはなりますが、皆様方の一層のご健勝を祈念申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

理事長 浅見 祐司

ふじしんの概要

役員・業務組織図



2026年3月31日現在

金庫名称	富士信用金庫
本部・本店所在地	富士市青島町212番地
設立	昭和28年2月
出資金	841百万円(会員数:29,738人)
営業地区	富士市、富士宮市、沼津市(旧戸田村を除く)、静岡市(旧庵原郡蒲原町及び由比町のみ)
業容	預積金残高 448,874百万円
	貸出金残高 202,607百万円
	役職員数 289人
店舗数	20店舗
子会社	ふじしんビジネス株式会社

営業地区・会員について

信用金庫は、会員制度による協同組織の地域金融機関であり、一定地域内の中小企業様や地域住民の方を会員としています。融資対象は会員の方を原則としておりますが、会員以外の方の融資も一定の条件で認められています。一方、預金は会員以外の方でもご利用いただけます。当金庫の営業地区は、上記の地区に限定されております。

信用金庫法による会員資格は、金庫の営業地区内に①住所又は居所を有する方(転入予定の方)、②事業所を有する方、③勤労に従事する方、④事業所を有する方の役員となっているほか、個人事業者では常時使用する従業員数が300人を超える場合、また法人事業者で常時使用する従業員が300人を超えかつ資本金が9億円を超える場合は会員となれないなど規模による制限があります。

主要な事業の内容

預金業務	当座預金、普通預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、定期積金、納税準備預金、外貨預金等を取り扱っております。
貸出業務	(1)貸付 手形貸付、証書貸付及び当座貸越を取り扱っております。 (2)手形の割引 商業手形等の割引を取り扱っております。
有価証券投資業務	預金の支払準備及び資金運用のため、国債、地方債、社債、株式、その他の証券に投資しております。
内国為替業務	送金為替、振込及び代金取立等を取り扱っております。
外国為替業務	輸出及び外国送金その他外国為替に関する各種業務を行っております。
附帯業務	(1)代理業務 ①日本銀行歳入代理店 ②地方公共団体の公金取扱業務 ③日本政策金融公庫、信金中央金庫、住宅金融支援機構の代理貸付業務 (2)保護預かり及び貸金庫業務 (3)有価証券の貸付 (4)債務の保証 (5)公共債の引受 (6)国債等公共債及び投資信託の窓口販売 (7)保険商品の窓口販売(保険業法第275条第1項により行う保険募集) (8)電子債権記録業に係る業務

役員

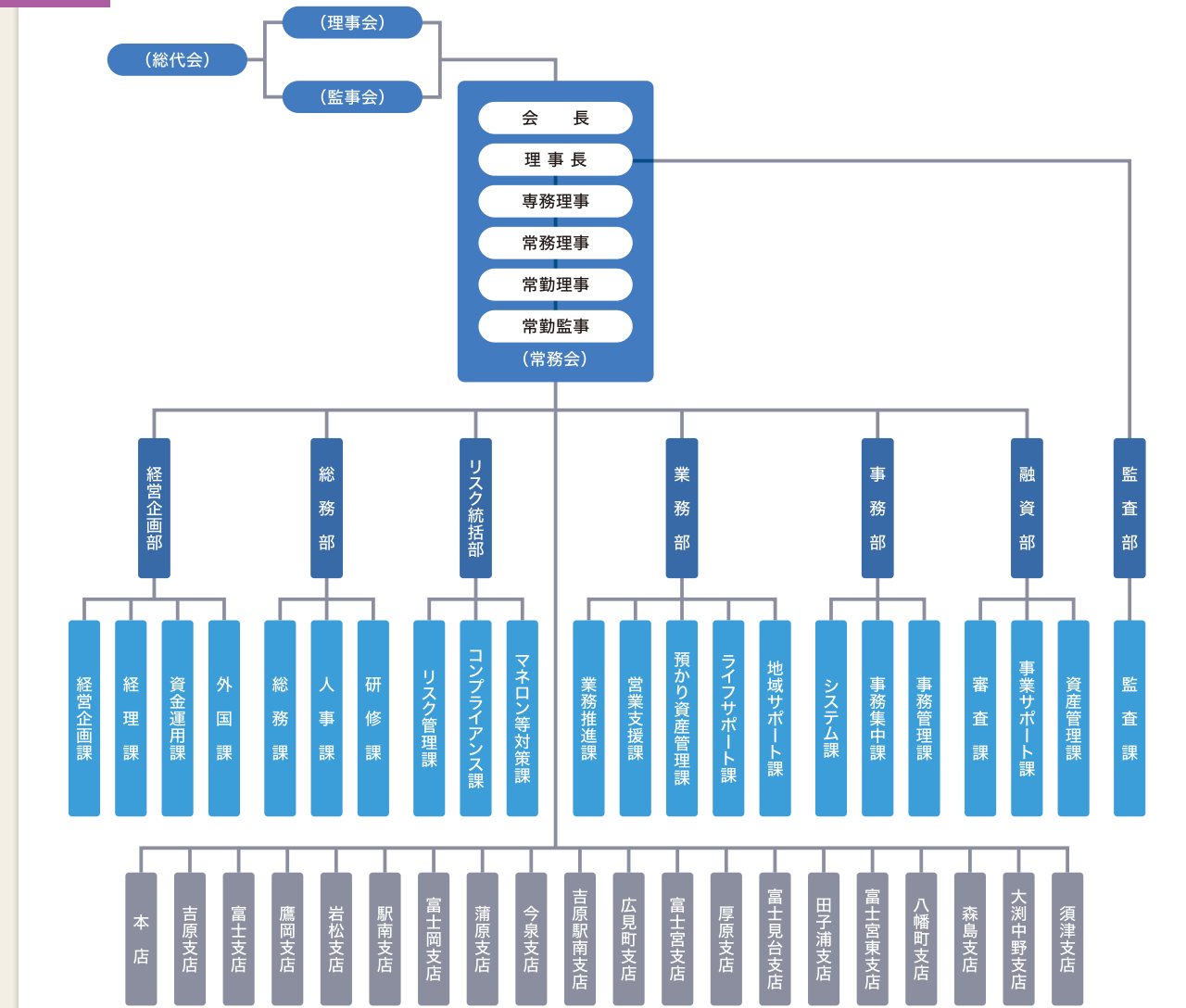
理事長(代表理事)	浅見 祐司
専務理事(代表理事)	村上 雅尚
常務理事(代表理事)	小野田 芳孝
常務理事(代表理事)	鈴木 章司
常務理事(代表理事)	川島 宏之
常勤理事	加藤 繁之
常勤理事	大澤 博之
常勤理事	相原 隆

2026年6月30日現在

常勤監事	涌田 周成
理事(非常勤)※1	村方 順一郎
理事(非常勤)※1	深澤 秀幸
監事(非常勤)	長橋 順
監事(非常勤)※2	川口 祐介

※1 理事 村方順一郎、深澤秀幸は、信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事です。
※2 監事 川口祐介は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

業務組織図

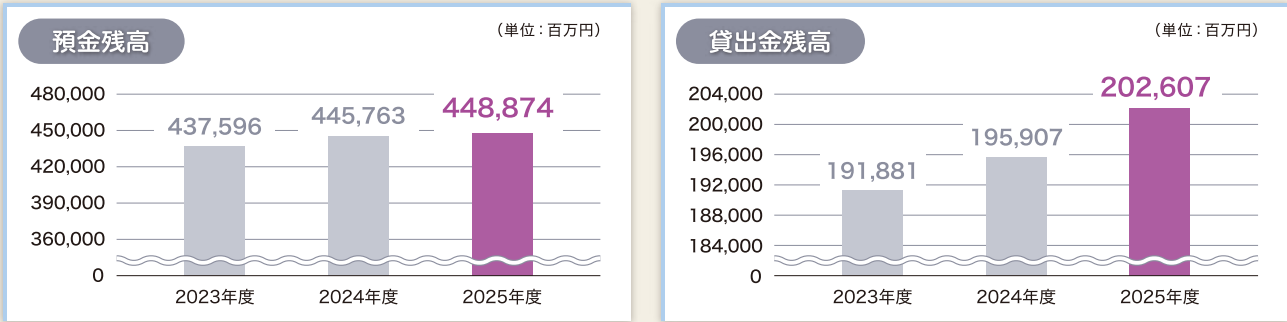




2025年度事業概況

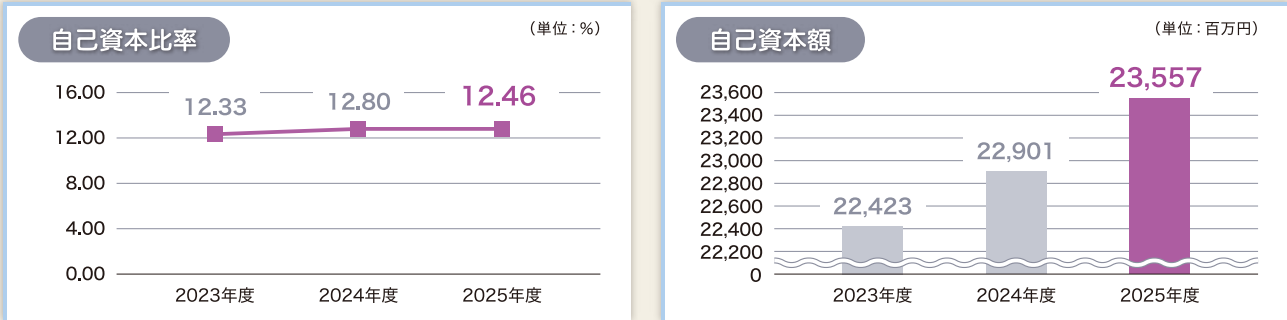
預金・貸出金の状況

▶ 預金 4,488億円 ▶ 貸出金 2,026億円



自己資本の状況

自己資本比率は、金融機関の健全性や安全性をはかる重要な指標の一つですが、当金庫の自己資本比率12.46%は、国内基準4%を大きく上回っております。



業績の推移

(単位: 千円)					
科目種類	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
経常収益	5,124,870	5,021,231	5,616,229	5,291,266	6,827,563
経常利益	940,075	806,447	892,832	821,811	903,066
業務純益	878,307	814,457	358,300	1,026,938	887,457
当期純利益	746,655	549,384	626,730	617,744	740,018
出資総額	818,793	824,452	828,961	836,056	841,253
出資総口数(口)	1,637,587	1,648,904	1,657,922	1,672,112	1,682,506
純資産額	20,365,663	16,969,679	17,465,139	14,209,420	13,692,826
総資産額	438,840,093	452,319,778	457,113,886	462,153,405	465,050,003
預金積金残高	416,500,870	433,224,801	437,596,059	445,763,268	448,874,131
貸出金残高	186,084,850	191,338,181	191,881,959	195,907,680	202,607,737
有価証券残高	156,478,822	153,714,815	154,348,280	152,404,127	151,923,692
単体自己資本比率	12.52%	12.47%	12.33%	12.80%	12.46%
普通出資に対する配当金(出資1口当たり)	10円	10円	10円	10円	10円
役員数	12人	12人	12人	13人	13人
うち常勤役員数	8人	8人	8人	9人	9人
職員数	305人	294人	282人	278人	280人
会員数	28,840人	29,014人	29,123人	29,453人	29,738人

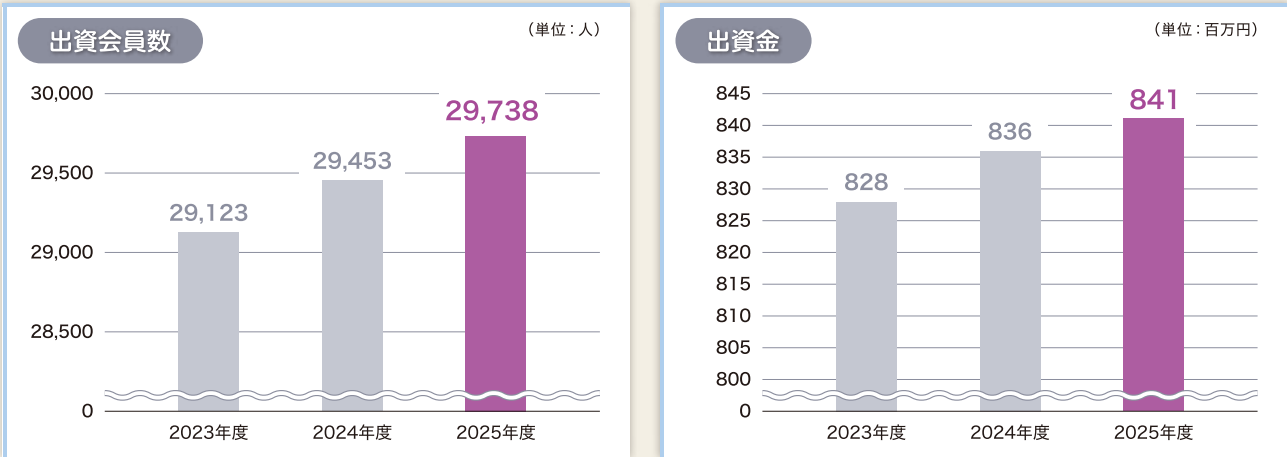
収益の状況

2025年度は、業務純益887百万円 コア業務純益1,263百万円 経常利益903百万円 当期純利益740百万円を計上しました。



出資金の状況

信用金庫は、地域の皆様からの出資により運営している協同組織金融機関です。



トピックス



地域貢献に関する取り組み

金融教育出前授業



『長期的な経済計画を立てる ～わたし
が考える幸せな人生を送るために、準備して
おきたいこと～』をテーマに、市内高等学校
にて金融教育の出前授業を行いました。
「30歳の私はこうありたい」といった夢を
考えてもらい、それに沿った将来設計をとも
に考えました。

未来について
一緒に考えたよ♪



「ふじしんGO縁結び! 恋活交流会」の開催

令和7年11月21日(金)、ホテルグラ
ンド富士にて、恋活交流会を開催しま
した。

若い世代に、安心感のある新たな
「交流」と「出会いの場」を創出しました。
(協力 ふじのくに出会いサポートセ
ンター 後援 富士市、富士宮市、富士商
工会議所)



ふじしん初の
試みだよ♪

保護猫活動団体へ寄付金贈呈

富士市内で保護猫活動をしている非営利
組織(NPO)団体に、寄付金を贈呈しました。
カードローンの契約数に応じて寄付する
キャンペーンの一環です。



ふじ丸くんノート贈呈

平成29年から地域の新入学児童向けに「ふじ
丸くんノート」を寄贈しています。ノート内には、
イラストで防災用品や防災に関する備えを
記載し、防災への意識向上が図れる工夫が施
されています。

今年で
10回目!



富士市役所



富士宮市役所

詐欺被害防止キャンペーン・詐欺防止警察表彰

地域の特殊詐欺等の被害
防止を目的に、富士警察署や
富士市と連携して、防犯に対す
る取組みを強化しています。



特殊詐欺防止キャンペーン(鷹岡支店)



令和7年10月10日 特殊詐欺被害未然防止(本店)

SDGsに関する取り組み

巻心ECOプロジェクト

ふじしんは、使い終わった粘着テープの芯を再利用する
エコプロジェクトに協力参加しました。回収した芯は、主催
団体に古紙回収業者に買い取ってもらい、段ボールに再
生するとともに、利益を植林
や森林保全活動に役立て
られます。



テープの芯
832個 回収!



脱炭素講演会



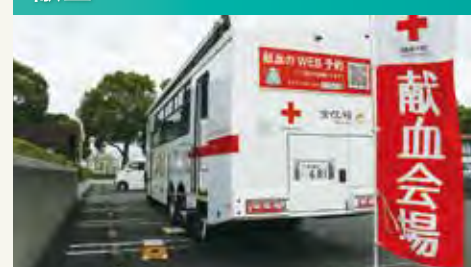
ふじしんは、行政と富士商工会議所など
と連携し、地域の産業活動を維持しながら、
事業者の脱炭素経営を推進いたします。

電動三輪ミニカーの導入



ふじしんは、環境に配慮したEVミニカーを
テスト導入しました。

献血



静岡県赤十字血液セ
ンターのご協力のもと、
6月と11月の年2回、
献血活動に参加して
おります。



人財育成



女性活躍の推進と健康経営

ふじしんでは、多くの女性職員が仕事と子育てなど家庭生活を両立させながら、様々なフィールドで活躍しています。それぞれのライフステージに合わせて安心して働くことができるような職場づくりを目指しています。



営業で活躍!!



窓口で活躍!!



ふじしんの人財育成について

ふじしんでは、職員一人ひとりのスキルアップを目的として、外部から専門講師を招聘し、さまざまな研修に取り組んでいます。



人的資本経営研修 (外部コンサルタント会社主催)

「人財の成長」を経営の重要テーマとして取り組んでいます。



サイバーセキュリティ研修 (静岡県警・富士警察署主催)

職員のサイバーリテラシーの向上と、さらにお客様との日常会話における注意喚起能力の強化を目指しています。



ふじのくにデジタルサポーター講習会 (静岡県主催)

地域のデジタルリテラシー向上に貢献します。

2026年度新入職員のご紹介

今年度採用の新入職員の中から、日々成長中の新人4名のフレッシュな声をご紹介します。

本店

川口 統真



私は、本店で後方事務を担当しています。
私が富士信用金庫に入庫したいと思った理由は、地元富士市で、地域の方々の役に立ちたい、富士市の発展に貢献したいと思ったからです。

毎日覚えることが多いのですが、先輩方や上司の方々の優しく丁寧な指導のおかげで充実した日々を送っています。

今後は、先輩方や上司の方々から信頼される職員を目指し、日々の業務に一生懸命取り組んでいきます。

駅南支店

芦川 真緒



私は、駅南支店で後方事務を担当しています。
私は、大学でまちづくりに関する活動に取り組む中で、地域の方々の暮らしを長く支える信用金庫の仕事に魅力を感じ、富士信用金庫への入庫を決めました。

毎日覚えることが多いのですが、周りの職員の方々に温かくご指導いただき、わからないことを聞きやすい環境で働くことができているため、安心して学ぶことができています。

常に笑顔を保ち、丁寧かつ正確に業務を行うことで、お客様や職員の方々から信頼される職員になれるよう努めてまいります。

富士岡支店

海野 流宇星



私は、富士岡支店で後方事務を担当しています。
富士信用金庫は、私の生まれ育った富士市の中小企業を支援しているという点で、地域の発展に貢献できるという思いから入庫を決めました。実際に入庫し、お客様をととても身近に感じています。微力ですが、

地域の方々のお役に立っていると感じ、富士信用金庫に入庫して良かったと思っています。

現在は、仕事を覚えることで精一杯となっていますが、少しでも早く仕事を覚えていきたいです。そして、周りの職員の方々はもちろん、お客様から信頼されるような職員となり、地域の発展に貢献できるように努力を重ねていきたいと思っています。

大淵中野支店

勝池 ひまり



私は、大淵中野支店で後方事務を担当しています。
私は、生まれ育った富士市の活性化に携わりたいと思い、地域密着の金融機関である富士信用金庫に入庫しました。

日々新しく覚えることが増え、学びの多い毎日ですが、先輩方の丁寧な指導のおかげで安心して業務に取り組んでいます。

今後は、知識と経験を積み重ね、地域の皆さまに親しみやすく信頼される職員を目指して努力していきます。

若手職員の声

Senior!

私は、入庫3年目を迎え、本店で営業担当として日々業務に励んでいます。

後輩職員には、積極的にコミュニケーションをとり、主体的に業務に取り組めるよう、サポートすることを意識しています。先輩職員として、後輩職員の力を最大限引き出せるように相談しやすい雰囲気づくりを心掛け、不安や疑問を早期に解決できるように支援しています。

今後は、自分自身の知識やスキルを伸ばすために資格取得に力を入れていきたいと思っています。知識や経験を活かして、地域と富士信用金庫に貢献できる職員になれるように励んでいます。



2024年入庫!

本店

山本 隆河

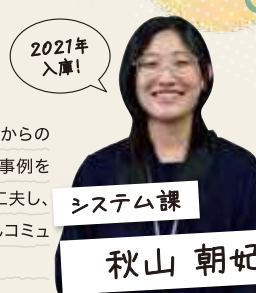


私は、事務部システム課でインターネットバンキングに関する事務や電話対応、オペレーションに関する対応を行っています。

後輩職員を指導するにあたって意識していることは、お客様からの問い合わせの内容と、それに対してどのような対応をしたのか事例をあげてフィードバックすることや、理解しやすいように伝え方を工夫し、マニュアルを用いて説明することです。また、日ごろからたくさんコミュニケーションを交わすことで、悩みや意見などを気軽に相談、発言ができる職場となるように意識しています。

今後は、資格取得に取り組み、先輩方のような頼れる職員になれるように努めていきたいです。

システム課は営業店と異なり、対面で直接お客様と接する機会はあまりありませんが、インターネットバンキング等の問い合わせを通してお客様に寄り添い、結果として営業店の事務負担軽減等にも貢献できるよう励んでいます。



2021年入庫!

システム課

秋山 朝妃



採用専用Instagramを開設しました!
就職活動中の学生を中心に当金庫の魅力を発信中です!!



よろしくねっ

個人のお客様へ

ライフステージに応じた商品・サービスのご案内

※それぞれの商品・サービスの詳細については、お近くの営業店までお問い合わせください。



▶NISA・投資信託



子育て
応援商品



▶「お～きくな～れ!」(普通預金)

▶「子育て応援定期積金」(定期積金)



▶カーライフプラン



▶教育関係ローン



▶住宅ローン

お使い道が
自由な商品



▶フリーローン・オールマイティ ▶急速快答

信託商品

▶退職金優遇定期預金 粋・YO～YO

▶しんぎん暦年信託「こころのリボン」

▶しんぎん相続信託「こころのボタン」



▶無担保住宅ローン(リフォーム等)

▶後見支援預金

▶シニア向けローン



▶フリーローン富士 ▶フリーローンChance



住宅ローンの
ご紹介

ご融資金額 2億円以内
ご融資期間 50年以内



住宅サポートローンもあります!

マイホーム購入時にかかる
家電の購入やご利用中の
カーローン借換などにも
お使いいただけます!!



LINE公式アカウントで、
ふじしんからのお知らせを
お届けしています!



『ふじしんお金の勉強会』

お客様の金融リテラシー向上のための勉強会を開催しております。
NISA制度や資産運用について、少人数制で、丁寧にご説明いたします。

『年金・税務相談会』

社会保険労務士・税理士による、
無料相談会を各店舗で定期的に
実施しています。
お気軽にご相談ください。

『資産運用相談』

お客様一人ひとりに合わせた金融
商品のご案内により、資産運用、
資産形成等のサポートに取り組ん
でいます。



事業者のお客様へ

ライフステージ編

創業期～

ふじしんが「起業への想い」の壁打ち役となり、ビジネスプランのブラッシュアップから土業の紹介、資金調達までを一気通貫で支援します。

- ◆事業計画策定支援
- ◆市場マーケティング
- ◆資金調達計画

～事業展開期～

新たな事業展開に必要な設備やソフトウェア、人材確保など様々な面からバックアップします。

- ◆補助金活用コンサルティング
- ◆人材紹介支援
- ◆IT導入支援
- ◆ビジネスマッチング

～成長期～

企業の持続的成長のためのCSR活動や環境配慮への対応など、様々な面からサポートします。

- ◆GXに対する取組み支援
- ◆M&Aによる事業拡大支援

～成熟期～

次世代へ思いを繋いでいくお手伝いを様々な切り口からご提案・伴走します。

- ◆後継者育成のための若手経営塾
- ◆経営権の譲渡スキーム
- ◆収益力強化、事業再構築に向けた支援



ふじしん若手経営塾の様子
テーマ「DX基礎とITマップ作成」

ふじしんの伴走支援の流れ

ふじしんは事業者様に伴走しながら、課題解決のお手伝いをします

SNS個別相談会



飲食業向けにSNSを活用した人気インスタグラマーによるデジタルマーケティング支援！

ふじしん初の試み！
このような支援も！

実行支援

ソリューション実行までをサポートします。

ソリューション提案

共有した課題に対する最適なソリューションを提案します。

課題の発掘・共有

財務分析・SWOT分析・収益性・生産性など様々な角度から課題を共有します。

当金庫の伴走支援事例（一部）

- 価格転嫁
下請け体制からの脱却と適正利益の確保
- 事業承継、M&A支援
経営権（株式）、資産の承継支援
ホールディングス設立による円滑な承継
- サステナビリティリンクローン（SLL）の活用
設備更改及び省エネ補助金を併せたSLLの推進
- 省力化投資による生産性向上支援
新規開業事業者の「理想」に向けた補助金活用支援

ふじしんの事業サポートの取組みについて

ふじしんでは、事業サポート専門のスタッフが、これまでの経験と外部機関との連携により皆様の課題解決に向け、多角的にサポートを行っております。営業店と本部事業サポート課が連携し、事業者・経営者の皆様のお悩みごとやご相談にお応えし、事業計画に合わせた支援に全力で取り組んでおります。



ふじしんのサポートチーム

情報発信への取組み

ふじしんでは、事業者様向けLINEで役立つ情報を発信しています。ぜひご参考にさせていただきます。

ふじしん 経営情報LINE 経営者の皆様、ぜひご活用ください！

契約お役立ち
情報

国・自治体からの
情報



各種補助金
情報

各種セミナー・
イベント情報

中小企業の経営支援と地域活性化への取り組み

課題別支援編

ふじしんでは、事業者様の課題解決に向けた支援に全力で取り組みます。

人材への支援

人材不足に悩んでいらっしゃる事業者様は増加しています。ふじしんが人材不足解消のお手伝いをいたします。



●人材紹介支援(正社員・副業・兼業)

人材不足に悩んでいる事業者様に対して、正社員雇用から副業・兼業の活用まで課題にあった人材紹介支援を行います。

●従業員様向け資産形成セミナー

従業員様に対して、資産形成や年金についての勉強会を **無料開催** しております。福利厚生の一環としてふじしんをご利用ください。

相談件数

103件

ヒト

取組み

販路拡大・収益力強化への支援

ビジネスマッチングやクラウドファンディングによる販路拡大支援を行うとともに、外部機関(日本政策金融公庫・静岡県よろず支援拠点・静岡県信用保証協会・一般社団法人中部産業連盟等)と連携し、様々な角度から事業者様の収益力改善支援のお手伝いをいたします。



▶ビジネスマッチング

▶クラウドファンディング

▶資本金劣後ローン

▶専門家派遣



【専門家による価格転嫁個別相談会】



相談件数

127件

売上・
収益力強化

設備導入・IT化への支援

設備導入やIT導入時には活用できる補助金のご紹介や補助金申請コンサルティングを行い、事業者様をサポートいたします。

▶補助金申請コンサルティング

▶IT化・DX推進支援

相談件数

170件

モノ



※相談件数は2025年4月～2026年3月までの累計件数

事業承継・情報

相談件数

378件



その他経営全般に係るご支援

様々な課題に適した専門家とのマッチングや情報提供を通じて、事業拡大・事業承継戦略の立案のお手伝いをいたします。

▶事業承継支援

▶創業支援

▶海外進出支援

▶M&A支援

▶不動産マッチング

▶企業価値算定サービス



1 中小企業の経営支援に関する取組方針

▶営業地域が限定された協同組織金融機関である信用金庫にとって、地域の中小企業及び個人のお客様への安定した資金のご提供は、最も重要な社会的使命の一つであると考え、適切かつ積極的に金融仲介機能を発揮してまいります。

また、資金の提供者としての役割だけでなく、お客様への経営相談や経営指導を通じて、お客様の経営改善等に向けた取組みを最大限支援いたします。

します。個々のお客様の状況をきめ細かく把握し、関係する他の金融機関、外部機関、外部専門家等とも連携を図りながら、円滑な資金のご提供、貸付条件の変更等に取り組んでまいります。

お客様へのきめ細かな経営改善支援を行うために、専門部署として融資部事業サポート課を置き、営業店と連携しながら事業者の皆様の経営支援に取り組んでおります。

2 中小企業の経営支援に関する取組状況

▶当金庫では、コンサルティング機能を強化し、静岡県中小企業活性化協議会、静岡県事業承継・引継ぎ支援センター、中小企業基盤整備機構、静岡県産業振興財団、しずおか中小企業支援ネットワーク、地域経済活性化支援機構等の外部機関・外部専門家との連携を図りながら、ライフステージに応じた最適なソリューションを提案・実行しております。

中小企業に対する経営支援の状況

2026年3月31日現在

	先数(者・社)	貸出残高(億円)
取引中小企業先	2,534	1,232
メイン取引先(※1)	1,438	886
「経営支援先」等の名称で、特に別枠で集中的な再生支援を行っている先(※2)	48	163
実抜計画策定先(※3)	78	85

(※1)メイン取引先の定義は、貸出残高シェアを基準としております。
(※2)当金庫では、貸出先の自己査定における債務者区分に応じて「経営支援先」を選定しております。
(※3)実抜計画とは「実現可能性の高い抜本的な経営再建計画」のことをいいます。

3 経営改善・事業再生・業種転換等の支援

▶複数の金融機関から借入れを行っているお客様から貸付条件変更の申し出があった場合など、他の金融機関や信用保証協会等と協調して対応を図る必要が生じたときは、守秘義務に留意しつつ、お客様の同意を得たうえで、これらの関係機関と情報の確認・照会を行うなど、緊密な連携を図りながら対応しております。

▶策定された事業計画による事業再生が見込まれ、かつ資本金借入金(DDS;Debt Debt Swap)の活用によるB/S改善により事業計画の実現可能性を高めることができると判断したお客様に対し、2012年10月からDDSによる支援を開始しました。このような幅広い支援を通じて、中小企業の技術力や雇用の維持が可能となり、ひいては地域経済の発展につながるものと考えております。

経営改善支援への取組実績(2025年4月～2026年3月)

(単位:先)

		期初債務者数	うち 経営改善支援 取組先数	αのうち期末に 債務者区分が ランクアップした先数	αのうち期末に 債務者区分が 変化しなかった先数	αのうち 再生計画を 策定した先数	経営改善 支援取組率	ランクアップ率	再生計画 策定率
区 分		A	α	β	γ	δ	α/A	β/α	δ/α
正 常 先	①	2,740	—	1	—	—	—	7.1%	—
	うちその他要注意先 ②	338	14		12	11	4.1%		78.6%
	うち要管理先 ③	3	—	—	—	—	—	—	—
破 綻 懸 念 先	④	81	13	1	12	9	16.0%	7.7%	69.2%
実 質 破 綻 先	⑤	26	—	—	—	—	—	—	—
破 綻 先	⑥	1	—	—	—	—	—	—	—
小 計 (② ～ ⑥ の 計)		449	27	2	24	20	6.0%	7.4%	74.1%
合 計		3,189	27	2	24	20	0.8%	7.4%	74.1%

(注)・ 期初債務者数及び債務者区分は、2025年4月当初時点のものです。

- ・ 債務者数、経営改善支援取組先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含みません。
- ・ βには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。なお、経営改善支援取組先で期中に完済した債務者はαに含めるもののβに含めていません。
- ・ 期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はβに含めています。
- ・ 期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理しています。
- ・ 期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めていません。
- ・ γには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しています。
- ・ みなし正常先については正常先の債務者数に計上しています。
- ・ 「再生計画を策定した先数δ」=「中小企業活性化協議会の再生計画策定先」+「RCCの支援決定先」+「金融機関独自の再生計画策定先」

4 経営者保証に関するガイドラインへの取組み

▶当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」及び「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客様からお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するため、「経営者保証に関する取組方針」を策定しています。同取組方針に基づき、経営者保証の必要性については、お客様との丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等を把握し、同ガイドライン等の記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

2025年度

新規に無保証で融資した件数	622件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	21.68%
保証契約を解除した件数	3件
「経営者保証に関するガイドライン」に基づく保証債務整理の成立件数(当金庫をメイン金融機関として実施したものに限る。)	—

経営者保証に関する
取組方針はこちら

当金庫では、地域経済の活性化や中小企業の経営支援に取り組んでおります。

お取引先企業のニーズを把握し、経営課題を共有することにより、融資やソリューション提案などを積極的に行い、生産性の向上、持続的成長を支援しております。

この取組みの成果指標として「金融仲介機能のベンチマーク」を活用し、自己点検・自己評価を行い、さらに質の高い金融サービスを提供できるよう努めてまいります。

金融仲介機能のベンチマーク(共通ベンチマーク)

2026年3月31日現在

項 目 ①	ベンチマーク		実 績	
取引先企業の 経営改善や 成長力の強化	当金庫がメインバンク(融資残高1位)として取引を行っている企業のうち、経営指標の改善や就業者数の増加が見られた先数及び同先に対する融資残高(グループベース)	メイン先数	1,277先	
		メイン先の融資残高	772億円	
		経営指標等が改善した先数	608先	
		経営指標が改善した先の融資残高	436億円	

項 目 ②	ベンチマーク	変更総数	好調先	順調先	不調先		
取引先企業の 抜本的 事業再生等による 生産性の向上	当金庫が貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況	276先	5先	35先	236先		
	当金庫が関与した創業、第二創業の件数	創業件数		36件			
		第二創業件数		2件			
		全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
	ライフステージ別の与信先数	2,547先	512先	224先	1,511先	95先	193先
	ライフステージ別の与信先の事業年度末の融資残高	1,400億円	99億円	182億円	898億円	18億円	177億円

項 目 ③	ベンチマーク		実 績	
担保・保証依存の 融資姿勢からの 転換	事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資残高		先 数	融資残高
			195先	198億円
	上記の全与信先数及び融資残高に占める割合		7.66%	14.14%

静岡県よろず支援拠点と連携し相談会を実施しております

▶当金庫は、経済産業省が2017年から指定した経営相談所である「静岡県よろず支援拠点」と連携し、経営者の皆様の販路拡大、営業推進及び販売促進等の経営課題の解消を支援するための相談会を実施しております。詳しくは、融資部事業サポート課までお問い合わせください。

融資部 事業サポート課

TEL:0545-53-4596
FAX:0545-53-3006

リスク管理体制

基本的な考え方

金融のグローバル化や金融業務の多様化、諸規制の緩和に伴い、私たちを取りまく環境は非常に速いスピードで日々大きく変化しております。その結果、リスクは様々な分野に広がり、かつ複雑化しているため、高度なリスク管理が求められるようになってきております。そのような流れのなかで地域と共に歩む金融機関として、私たちはリスクに囲まれながらも、積極的に資金ニーズに応えていく姿勢が重

要であると考えております。一方で、健全性を損なわない強靱な体質も求められております。

当金庫では、多岐にわたるリスクを可能な限り把握し、統合的に管理することにより、経営の健全性を保つべく、組織を整備してまいりました。今後とも皆様に安心してお取引いただける金融機関を目指し、一層「リスク」を管理していくように努めてまいります。

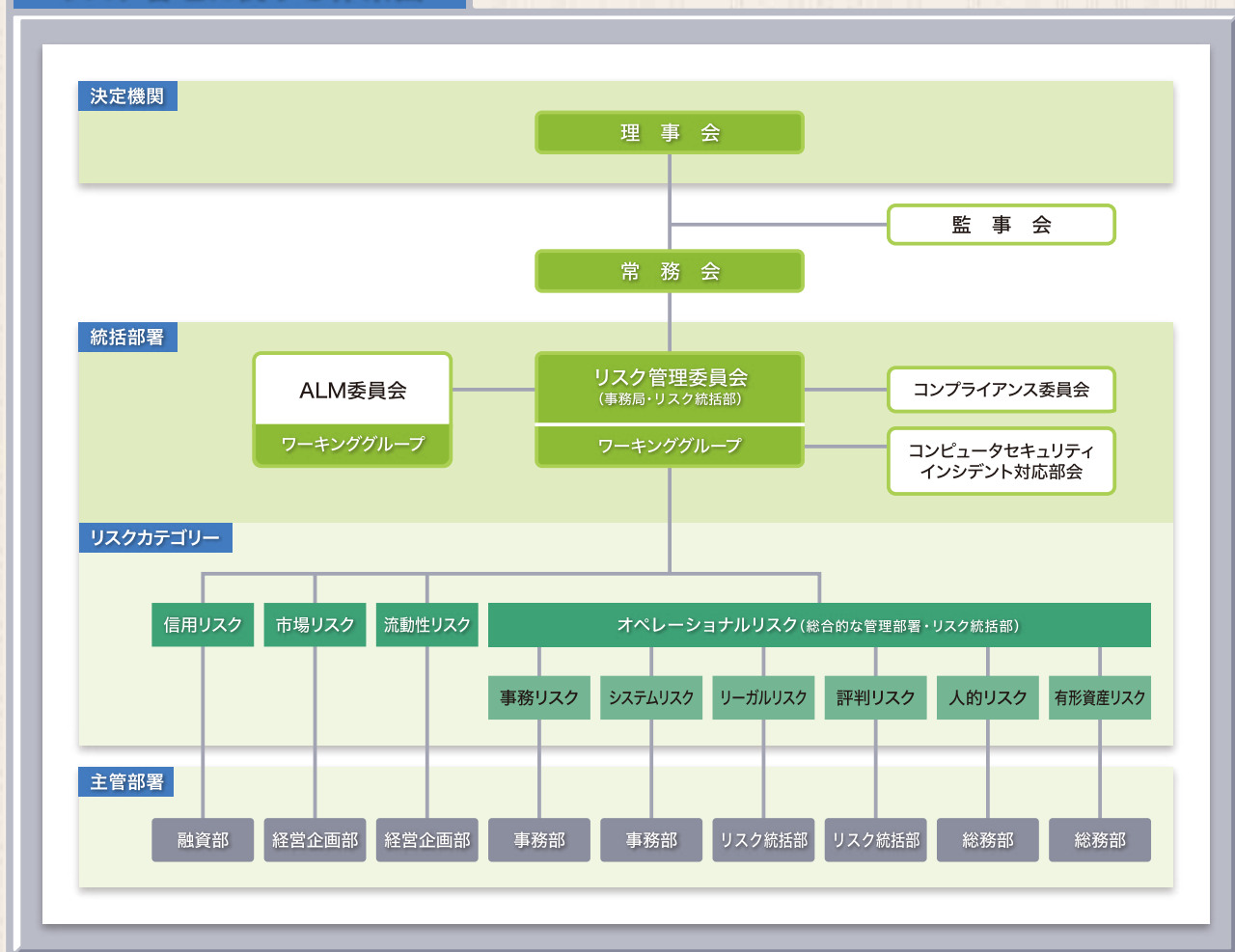
リスクの統括管理

当金庫では、リスク管理規程に基づき、多岐にわたるリスクのうち計数でとらえることが可能なリスクを総合的に把握しておく必要性から、「ワーキンググループ」や「コンピュータセキュリティインシデント対応部会（ふじしん

CSIRT）」を下部組織に置いた「リスク管理委員会」で統括管理を行っております。

本委員会は、業績の推移を含め当金庫のトータルのリスクを管理し、様々な角度から審議を行い、運営しております。

リスク管理に関する体系図



信用リスク管理

信用リスクとは、取引先の経営状態の悪化などにより、貸出債権の元本、利息が回収困難となり損失を被るリスクをいいます。

当金庫では、融資部が「信用リスク主管部署」として信用リスクの管理を行っております。平成10年以来、「金融再生法」を厳守した厳格な自己査定基準にて不良債権の処理に努めるとともに、事後管理も徹底して行っております。

また、日常の融資業務についても営業部門とは独立して融資部が統括しており、個別案件ごとの信用リスクを考慮した審査態勢のもとで、定量、定性の両面から分析を行い、より充実した運用に努めております。

営業店融資担当者に対して、融資案件にスムーズに対応できるよう、スキルアップを図っております。「審査実務トレーニング」「財務分析研修」などを定期的に開催し、適正な融資態勢を目指しております。

市場リスク管理

市場リスクとは、金利、為替、株式等の様々な市場のリスク・ファクターの変動により、当金庫の資産及び負債（オフバランス資産を含む。）の価値が変動し損失を被るリスク、資産及び負債から生み出される収益が変動し損失を被るリスクをいいます。

当金庫では、市場リスクが経営に与える影響を認識し、ポジション枠やリスクリミットを導入するなど、リスクを適切にコントロールしながら、市場部門の収益の安定化及び金融資産の健全性確保を図っております。

また、市場部門の相互牽制のため、フロントオフィス、ミドルオフィス、バックオフィスを組織的に分離しております。

流動性リスク管理

流動性リスクとは、予期せぬ資金の流出により通常より著しく高い金利での調達を余儀なくされることや、通常より著しく不利な価格での取引を余儀なくされることで損失を被るリスクをいいます。

当金庫では、支払準備資金を主に信金中央金庫に預け入れ、信金中央金庫が流動性への対応を図るといった業界としてのバックアップ態勢が整っております。

事務リスク管理

事務リスクとは、事務処理に係るミスや業務上の不正等から生じるリスクをいいます。

当金庫では、事務ミス等の発生の報告態勢を整備して事務リスク発生の危険性を把握するとともに、事務ミス等の再発防止策を検討し、厳正な事務手続・事務処理の指導・管理に努め、適切な事務規程等の整備を図っております。

人的リスク管理

人的リスクとは、人事運営上の不公平・不公正（報酬手当・解雇等の問題）及び差別的行為（セクシュアルハラスメント等）から生じる損失・損害をいいます。

当金庫では、能力・職務・実績に応じた賃金体系の確立を図り、また、明朗かつ働きがいのある職場づくりの実現を目指しております。

有形資産リスク管理

有形資産リスクとは、自然災害やその他の事象から生じる有形資産の毀損・損害をいいます。

当金庫では、店舗の新築を順次進めており、耐震強化を図っております。

システムリスク管理（コンピュータ・システムの安全対策）

金融業務の多様化や事務量の増大に柔軟に対応し、正確で迅速な事務処理により、地域の皆様のご信頼・ご愛顧にお応えするため、システムへの投資や安全対策の充実に努めております。

具体的にはコンピュータ・システムによる各種事務処理等の集中化を積極的に進めるとともにシステム検証の機能を強化させ、正確で迅速かつ厳正な事務取扱を推進しております。

また、安全対策については、金融機関のコンピュータ・システムは高い公共性及び広汎性を有していることから、情報保護資産に関する基本方針「セキュリティポリシー」や個人情報保護宣言「プライバシーポリシー」、危機管理計画書「コンティンジェンシー・プラン」等に基づく安全対策のほか、システムのバックアップや通信回線の二重化を確保するなど、システムリスクへの安全対策について、より一層の強化を図っております。

評判リスク管理

評判リスクとは、資産の健全性や収益力、自己資本などのリスク耐久力、規模、成長性、利便性などの評判を形成する内容の劣化や風評により、お客様からの評判が低下するリスクをいいます。

当金庫は、国内基準を大きく上回る自己資本比率を維持しており、高いリスク耐久力を有しております。

リーガルリスク管理

リーガルリスクとは、金庫経営、金庫取引などに係る法令・庫内規程等に違反する行為又はそのおそれのある行為が発生することによって、当金庫の信用の失墜を招き損失を被るリスクをいいます。当金庫では、経営方針・コンプライアンス基本方針・行動規範・遵守基準などに則り、主管部署をリスク統括部とし、全部署が担当部署として、リスクを適切に把握・管理しております。

ALM管理

ALMとは、Asset Liability Managementの略で、資産と負債をコントロールし、適正な収益の確保と適切なリスク管理を図ることをいいます。

金融機関にとっての「運用と調達のバランス」は、基本的でありながらも重要なテーマです。当金庫では、「ALM委員会」を中心として定期的なリスク管理を行っております。また、本委員会の下部組織として、ワーキンググループを設置し、設定された収益目標の達成状況等を踏まえ、必要な具体的施策の検討を行うこととしています。

内在する様々なリスクを明確に現状分析し、安定した収益確保とリスクの軽減を図っていくことが、健全経営を維持するための重要課題の一つと認識しております。

多様化するリスクに前向きにかつ厳格に対処できるよう、これからも努めてまいります。



コンプライアンス

法令等遵守

コンプライアンス(法令等遵守)とは、法令やルールを厳格に遵守することはもとより、さらには社会的規範を全うすることをいいます。

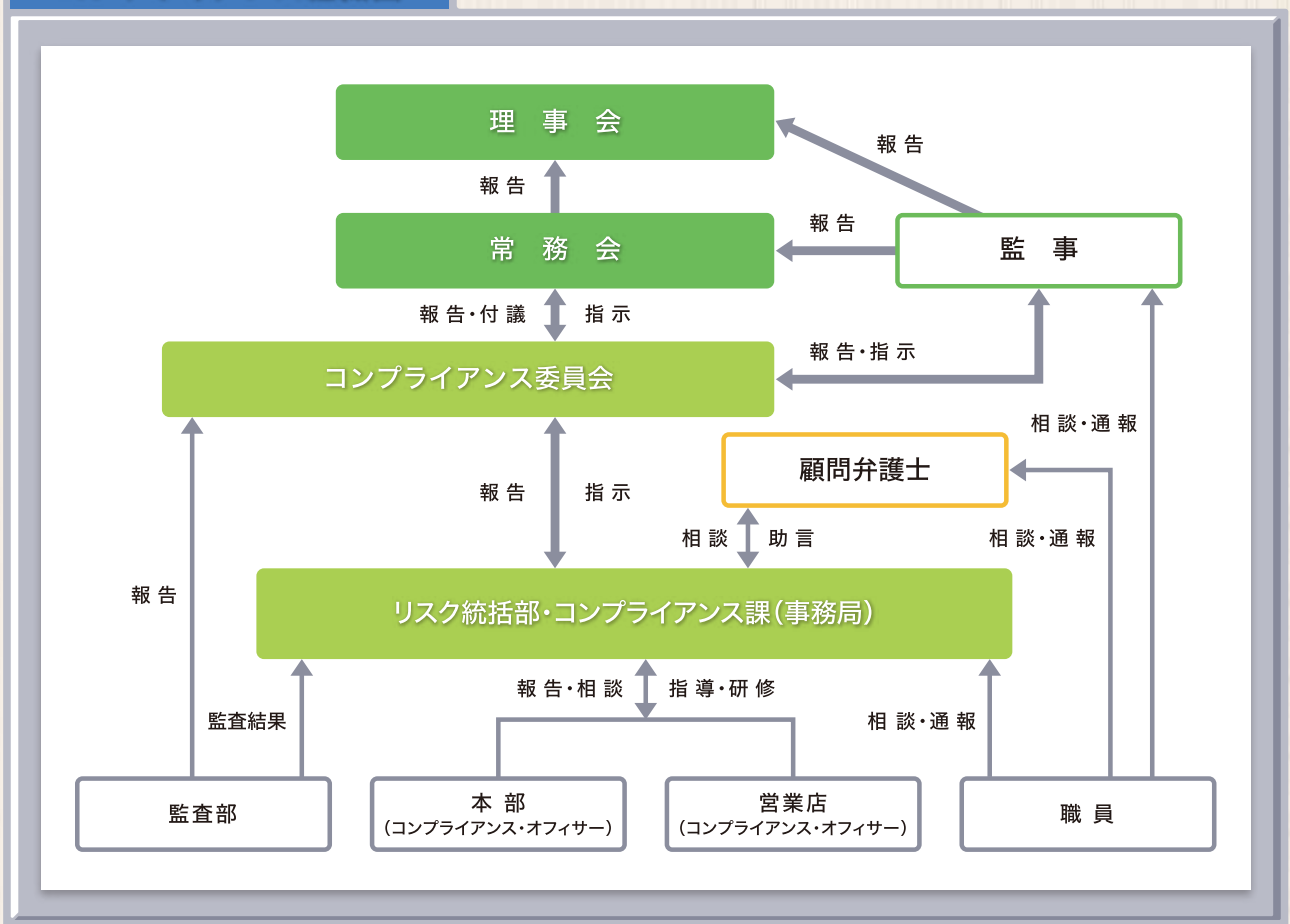
当金庫は、地域経済の発展に貢献するという社会的使命や公共性を担う地域金融機関として、役職員一人ひとりがルールを守り公正な判断で活動することこそ、その責任を果たす何よりの使命と考え、年度ごとに「コンプライアンス・プログラム」を策定し、法令等遵守の強化に取り組んでおります。

お客様からより一層信頼され、安心してお取引をいただけるよう遵守の強化に努めていくため、全役職員が常にコンプライアンスを意識する企業風土の醸成を目的として、「富士信用金庫 倫理憲章」の策定を行うとともに、外部講師によるコンプライアンス研修、金庫内研修等を実施しております。

当金庫における各種方針・指針

- ◆ 顧客保護等管理方針
- ◆ 反社会的勢力に対する基本方針
- ◆ 個人情報保護宣言(プライバシーポリシー)
- ◆ 利益相反管理方針
- ◆ 金融商品に係る勧誘方針
- ◆ お客様本位の業務運営に関する基本方針(フィデューシャリー・デューティー)
- ◆ 信用金庫電子決済等代行業者との連携及び協働に係る方針
- ◆ カスタマーハラスメントに対する基本方針

コンプライアンス組織図



◆ 当金庫では、お客様へより良いサービスを提供するため、職員が心身ともに健康で、気持ちよく働くことができる環境を提供することを目的として、令和7年4月にカスタマーハラスメントに対する基本方針を制定いたしました。

カスタマーハラスメントに対する基本方針

1 はじめに

当金庫は、基本方針に掲げる「地域社会の繁栄に貢献する」「信用の高揚と堅実経営に徹する」「職場の明朗と福利の増進を図る」ことを目指し、全役職員がお客様からの信用や信頼に応え、ご満足いただけるサービスを提供することを心がけております。

当金庫では、今後もより良いサービスを提供するためには、ご利用いただくお客様との良好な協力関係の構築が必要不可欠であると考え、その実現を図るために厚生労働省「カスタマーハラスメント対策企業マニュアル」に基づき、「カスタマーハラスメントに対する基本方針」を定めました。

2 目的

当金庫では、お客様へより良いサービスを提供するためには、職員が心身ともに健康で、気持ちよく働くことができる環境を提供することが重要であると考えております。そのためには、当金庫の考え方や姿勢等をお客様にご理解いただき、より良い関係性の構築にご協力いただく必要があると考えます。

そして、その結果としてお客様へのサービスの質が高まるとともに、お客様の満足度の向上につながると考えております。これからも継続して、当金庫とお客様がより良い関係性を構築することを実現するために、皆様にご協力いただきたいこと、ご理解いただきたいこと等をお伝えすることを目的としております。

3 カスタマーハラスメントに該当する行為

当金庫では、カスタマーハラスメントについて以下のような行為と考えました。なお、以下の記載は例示であり、これらに限られるという趣旨ではございません。

(1) お客様による精神的・身体的な攻撃

- 暴言や暴力
- 威嚇・威迫・脅迫・中傷・名誉棄損
- 人格を否定する発言
- 個人を侮辱する発言
- 継続的・執拗な言動

- 合理的理由のない謝罪の要求
- 金銭補償の要求
- 当金庫役職員への攻撃(解雇等の処罰の要求)

(3) お客様によるその他のハラスメント行為

- プライバシー侵害行為
- セクシュアルハラスメント行為
- その他各種のハラスメント行為

(2) 過剰または不合理な要求

- サービスとして提供していない内容に対する要求
- 契約範囲外の内容の要求
- 社会通念上受け入れられない要求
- 合理的範囲を超える時間的・場所的拘束(不退去・居座り・監禁)

(4) お客様によるその他の迷惑行為

- SNSやインターネット上の誹謗中傷 等
- 上記に限らず、「お客様からの暴力や悪質なクレームなどの著しい迷惑行為」も同様に対象となります。

4 カスタマーハラスメントへの対応

(1) 事前の対応

- ① お客様対応、カスタマーハラスメントに関する知識、対処法の教育を実施します。
- ② カスタマーハラスメントに関する相談窓口を設置します。

(2) 発生時の対応

- ① カスタマーハラスメントとみられる事象が発生した場合、その事案がハラスメントに該当するかどうか慎重に評価します。

- ② カスタマーハラスメントの被害にあった職員のケアに努めます。
- ③ カスタマーハラスメントに屈することなく、お客様に合理的・理性的な話し合いを求め、お客様とのより良い関係性の再構築に努めます。
- ④ 悪質なカスタマーハラスメントの場合は、警察や弁護士等の外部機関・外部専門家に協力を仰ぐとともに、お取引をお断りまたは中止させていただく場合がございます。

5 お客様に対するお願い

- (1) 当金庫は、より良いサービスを提供するため、本方針に基づき対応いたします。
- (2) お客様におかれましては、本方針に対するご理解とご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。



当金庫では、これらの各種方針・指針などをホームページ等に公開しております。

ふじしんホームページ 各種方針・指針など
<https://fuji-shinkin.jp/about/>



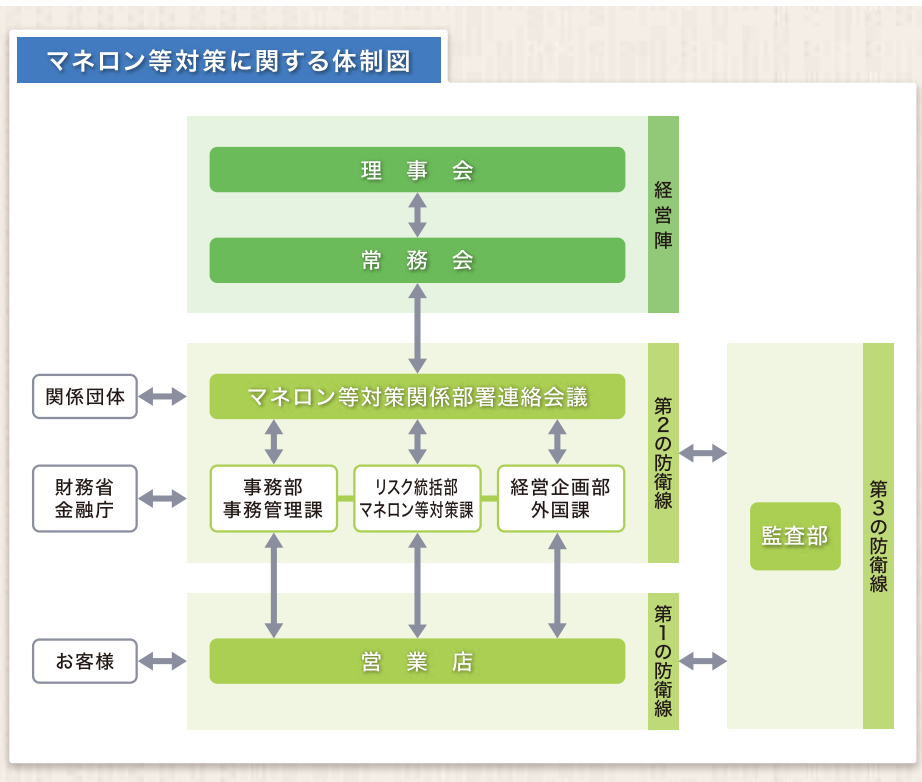


マネー・ローンダリング・テロ資金供与・拡散金融対策への取組みについて

当金庫は、マネー・ローンダリング・テロ資金供与・拡散金融の防止に向けた対策を経営上の重要な課題の一つとして位置付け、役職員が一丸となって対応し、金融犯罪を防止するよう努めております。

また、『マネー・ローンダリング・テロ資金供与・拡散金融対策ポリシー』を制定するとともに、令和2年4月よりリスク統括部に専任部署「マネロン等対策課」を設置し、図表のような態勢で対策の実効性向上を図っております。

関係省庁・関係団体と連携しながら、複雑化・高度化する金融犯罪の手口に対応し、有効に防止することができるように対策を進めてまいります。



「お客様情報の定期的な確認」についてのご協力のお願い

当金庫とお取引いただいているお客様の現況やご利用目的等にご変更がないかどうかの確認をさせていただくために、「定期的なお客様情報ご提供のお願い」の書類を順次お送りし、ご案内に関するご回答をお願いしております。お客様にはお手数をおかけいたしますが、何卒ご理解・ご協力いただきますようお願い申し上げます。

(書類見本)



「お客様情報の定期的な確認」をさせていただくにあたり、

- ▶ 当金庫の職員がキャッシュカードをお預かりすること、暗証番号をお聞きすることはございません。金融機関を騙り「キャッシュカードをお預かりする」「暗証番号をお聞きする」といった内容はすべて詐欺ですのでご注意ください。
- ▶ 質問には、「口座番号」「暗証番号」等の口座情報をお尋ねする内容ではありません。暗証番号等を回答させる「お客様情報の定期的な確認」は詐欺ですのでご注意ください。
- ▶ お客様から現在のお届け内容と異なる回答をいただいた場合は、当金庫より変更のご依頼をお願いする場合がございます。

金融ADR制度への対応

金融ADR制度(裁判外紛争解決制度)への対応

苦情処理措置・紛争解決措置等の概要

当金庫は、お客様からの相談・苦情・紛争等(以下、「苦情等」といいます。)を営業店又はリスク統括部で受け付けています。

1

お客様のお申し出に対する当金庫の対応

- ① 苦情等のお申し出があった場合、その内容を十分に伺ったうえで、内部調査を行って事実関係の把握に努めます。
- ② 事実関係を把握したうえで、営業店、関係部署等とも連携を図り、迅速・公平にお申し出の解決に努めます。
- ③ 苦情等のお申し出については記録・保存し、対応結果に基づく改善措置を徹底のうえ、再発防止や未然防止に努めます。なお、苦情等は営業店(27・28頁をご覧ください。)又は右記リスク統括部へお申し出ください。

富士信用金庫 リスク統括部

住 所	〒417-8686 富士市青島町212番地
電話 番号	0545-53-3034
受 付 日 時	月～金(祝日・年末年始を除く) 9:00～17:00
受 付 媒 体	電話、手紙、面談、WEB

※お客様の個人情報は苦情等の解決を図るため、また、お客様とのお取引を適切かつ円滑に行うために利用いたします。

※メールの場合、当金庫ホームページ「お問い合わせ」をご利用ください。

ふじしんホームページ お問い合わせ
https://fuji-shinkin.jp/contact/



2

当金庫のほかに、一般社団法人全国信用金庫協会が運営する「全国しんきん相談所」をはじめとする他の機関でも苦情等のお申し出を受け付けています。

詳しくは上記リスク統括部にご相談ください。

全国しんきん相談所(一般社団法人全国信用金庫協会)

住 所	〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル 11階
電話 番号	03-3517-5825
受 付 日 時	月～金(祝日・年末年始を除く) 9:00～17:00
受 付 媒 体	電話、手紙、面談

3

静岡県弁護士会、東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京弁護士会が設置運営する仲裁センター等で紛争の解決を図ることも可能ですので、リスク統括部又は上記全国しんきん相談所へお申し出ください。

なお、各弁護士会に直接申し立ていただくことも可能です。

静岡県弁護士会 あっせん・仲裁センター(沼津支部)

住 所	〒410-0832 沼津市御幸町24-6
電話 番号	055-931-1848
受 付 日 時	月～金(祝日・年末年始を除く) 10:00～12:00 13:00～16:00

東京三弁護士会

名 称	東京弁護士会 紛争解決センター	第一東京弁護士会 仲裁センター	第二東京弁護士会 仲裁センター
住 所	〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-1-3		
電話 番号	03-3581-0031	03-3595-8588	03-3581-2249
受 付 日 間	月～金(祝日・年末年始を除く) 9:30～12:00 13:00～16:00	月～金(祝日・年末年始を除く) 10:00～12:00 13:00～16:00	月～金(祝日・年末年始を除く) 9:30～12:00 13:00～17:00

4

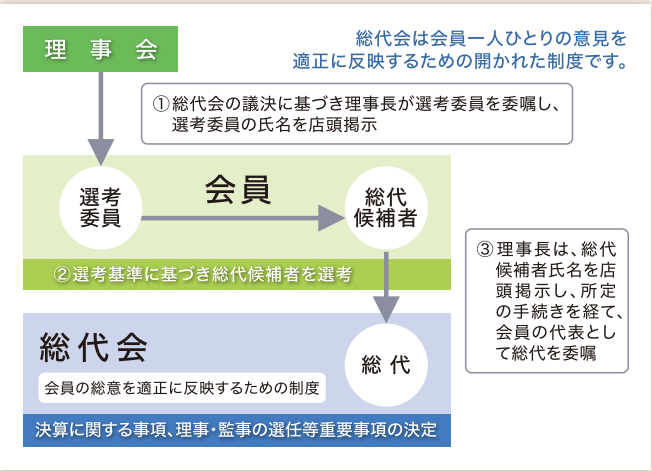
当金庫は、お客様からの苦情等のお申し出に迅速・公平かつ適切に対応するため、金融ADR制度も踏まえ、内部管理態勢等を整備して苦情等の解決を図り、もって当金庫に対するお客様の信頼性の向上に努めます。

総代会について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。そのため、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では、会員数が大変多いため総会の開催は事実上困難となっております。そこで、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。総代会は総会と同様に会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

また、当金庫では、総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切に、様々な経営改善に取り組んでおります。



総代の属性別構成比に関する情報

2026年6月30日現在

職業別構成比

法人・法人代表者	96.8%
個人事業主	3.2%
個人	—
合計	100.0%

業種別構成比

製造業	40.5%
建設業	19.8%
卸売・小売業	13.5%
その他のサービス	7.9%
運輸業・郵便業	5.5%
その他	12.8%
合計	100.0%

年代別構成比

30歳代	0.8%
40歳代	7.1%
50歳代	27.8%
60歳代	24.6%
70歳代	39.7%
80歳代以上	—
合計	100.0%

総代の氏名と就任回数

2026年6月30日現在

1区 本店・ 吉原支店地域

氏 名	就任回数
井 出 克 広	3
井 上 有 之	3
梅 澤 伸 英	2
影 島 俊 宏	4
佐 野 豊	1
中 村 佳 克	1
松 井 猛 紀	3
山 崎 博 史	1
山 本 久 也	3
市 川 智 也	6
井 出 勇 次	7
植 草 慎 一 郎	7
植 田 眞 晴	3
内 田 昌 宏	4
遠 藤 典 生	7
大 橋 賢 一	5
小 口 頼 一	3
川 島 勉	4
齊 藤 幸 秀	10
佐 藤 広 美	3
澤 崎 博 明	9
鈴 木 秀 典	6
立 石 雅 世	8
田 中 克 宣	3
中 井 正 幸	9
堀 野 辰 夫	6
増 田 憲 一 郎	1
松 本 安 弘	8
渡 邊 榮 一	8
渡 邊 直	5

2区 富士支店・ 八幡町支店地域

氏 名	就任回数
遠 藤 恵 久	4
久 保 田 貴 久	4
佐 野 浩 平	1
鈴 木 清 久	11
田 中 実 紀 男	2
田 村 彰 祥	2
西 尾 敬 二	7
長 谷 川 耕 平	5
半 澤 敏 夫	10
望 月 政 光	3
山 崎 建 治	6
川 村 晃 睦	2
後 藤 弘 明	7
外 田 雅 樹	6

3区 鷹岡支店・ 厚原支店地域

氏 名	就任回数
井 出 篤 志	2
大 村 利 光	5
小 林 智 明	7
佐 野 寛	3
谷 本 浩 一	6
都 築 明 光	4
西 尾 武 博	11
吉 野 秀 彦	7
植 田 和 明	7
片 岡 成 男	3
櫻 田 卓 也	2
中 西 彰 一	1
中 村 謙 一	7
西 川 悟	3
山 本 真 生	1

4区 岩松支店・ 浦原支店地域

氏 名	就任回数
加 藤 親 洋	2
加 藤 正 広	2
町 田 暢 彦	3
望 月 泰 二 郎	3
望 月 豊 久	2
小 林 力	2

5区 駅南支店・ 森島支店地域

氏 名	就任回数
飯 塚 史 洋	2
石 井 源 一	7
大 石 照 義	6
羽 切 和 美	1
八 木 良 朋	1
浅 羽 優 太 朗	3
伊 東 秀 和	1
海 野 幸 男	1
菅 野 清 貞	2
平 田 攻	1
増 田 央	3

6区 富士岡支店・ 須津支店地域

氏 名	就任回数
青 野 貴 芳	1
窪 田 利 正	1
清 水 義 貴	1
鈴木 久美子	2
服 部 愛 一 郎	8
半 田 光	2
一 ツ 山 繁	8
本 多 恒 康	6
畔 柳 敏 男	9
大 塚 芳 正	8
片 岡 佳 秀	1
小 長 谷 邦 行	9

7区 今泉支店・ 富士見台支店地域

氏 名	就任回数
安 藤 秀 彦	6
小 林 繁 樹	4
佐 野 昭 夫	8
志 田 直 史	1
田 中 仁 美	3
望 月 昭 宏	1
吉 田 浩 之	7
石 川 雅 基	3
勝 亦 幸 治	3
芹 澤 明 広	4
三 澤 賢 治	8

8区 広見町支店・ 大淵中野支店地域

氏 名	就任回数
赤 堀 哲 二	3
岩 間 清 人	5
植 田 幸 江	4
勝 又 拓 也	1
加 茂 誠 行	1
近 藤 浩 之	1
秋 山 勝 美	8
秋 山 英 生	4
勝 亦 英 夫	2
佐 野 孝 博	8

9区 富士宮支店・ 富士宮東支店地域

氏 名	就任回数
加 藤 英 樹	1
河 西 幸 一	3
佐 野 泰 造	1
杉 浦 博	4
坪 井 英 智	2
渡 邊 俊 介	3
渡 邊 雅 一	6
綿 引 謙	7
櫻 井 二 三 代	3

10区 吉原駅南支店・ 田子浦支店地域

氏 名	就任回数
篠 原 均	4
杉 山 哲 也	8
齋 藤 公 伸	4
前 嶋 昌 見	2
米 山 隆 是	3
和 田 文 敬	2
渡 邊 隆 敏	3

総代とその選任方法

1 総代の任期・定数

総代の任期は3年です。総代の定数は120人以上150人以内で、会員数に応じて選任区域ごとに定められております。
なお、2026年6月30日現在の総代数は126人です。

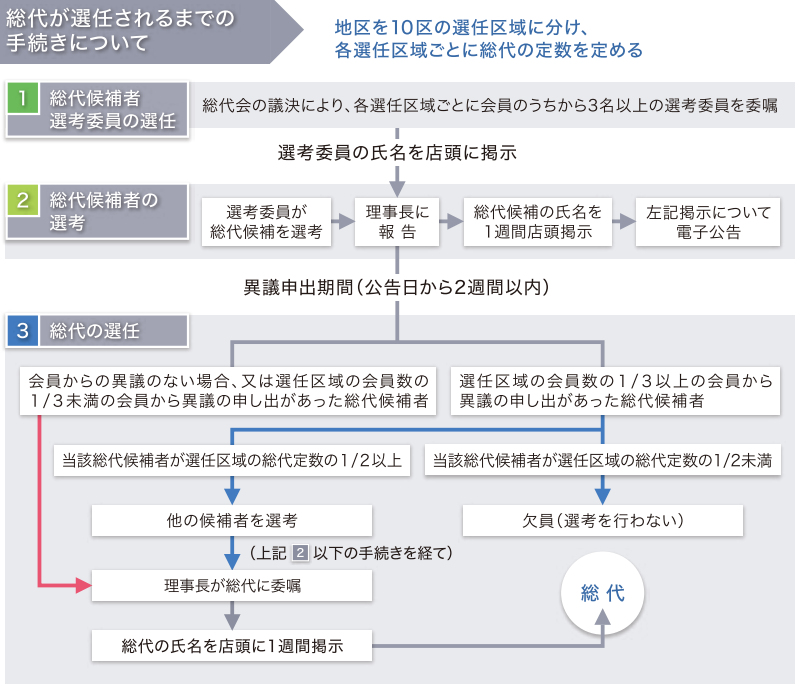
2 総代の選任方法

総代は会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映させる重要な役割を担っております。そこで、総代の選考は、総代候補者選考基準^(注)に基づき、次の三つの手続きを経て選任されます。

- ① 会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
- ② その総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
- ③ その総代候補者を会員が信任する（異議があれば申し立てる）。

(注) 総代候補者選考基準

- ① 資格要件
・ 当金庫会員であること
- ② 適格要件
・ 当金庫の理念・使命をよく理解し、当金庫との緊密な取引関係を有する方
・ 良識を持って、正しい判断ができる方
・ 地域における信望が厚く、総代として相応しい方
・ 地域での居住年数が長く、人縁関係が深い方
・ 行動力があり、積極的な方
・ 人格、見識に秀で、当金庫の発展に寄与できる方



第73期通常総代会の決議事項

第73期通常総代会において、次の事項が付議され、それぞれ原案のとおり承認されました。

① 報告事項

- ▶ 第73期(2025年4月1日から2026年3月31日まで)貸借対照表、損益計算書報告の件
- ▶ 第73期(2025年度)業務報告の件
- ▶ 役員賞与支給の件

② 決議事項

- 第1号議案 第73期(2025年度)剰余金処分案承認の件
- 第2号議案 定款第15条に基づく会員の法定脱退の件





全店のATMで、店舗営業時間終了後でも通帳繰越ができます。 2026年6月30日現在

本店 (店番080)・本部



富士市青島町212番地
0545-53-2002 (本店)
0545-53-3001 (本部)

吉原支店 (店番001)



富士市御幸町5番1号
0545-52-5031

富士支店 (店番002)



富士市平坦本町4番4号
0545-61-5120

富士宮東支店 (店番017)



富士宮市東町9番5号
0544-26-3711

八幡町支店 (店番018)



富士市八幡町5番11号
0545-64-7001

森島支店 (店番020)



富士市森島425番地の1
0545-64-8211



鷹岡支店 (店番003)



富士市入山瀬2丁目2番5号
0545-71-2010

岩松支店 (店番004)



富士市岩本98番地の1
0545-61-5140

駅南支店 (店番005)



富士市横割本町16番10号
0545-61-5142

大淵中野支店 (店番021)



富士市中野212番地の1
0545-36-2220

須津支店 (店番022)



富士市神谷422番地の7
0545-34-1080

研修センター



富士市中野212番地の11

富士岡支店 (店番006)



富士市富士岡1457番地の7
0545-34-0405



蒲原支店 (店番007)



静岡市清水区蒲原新田1丁目18番19号
054-385-3195

今泉支店 (店番008)



富士市宇東川東町4番1号
0545-52-1815

吉原駅南支店 (店番011)



富士市鈴川東町4番9号
0545-33-1405

広見町支店 (店番012)



富士市広見西本町6番14号
0545-21-5130

富士宮支店 (店番013)



富士宮市城北町66番地
0544-27-8811

厚原支店 (店番014)



富士市厚原869番地の1
0545-71-7266

富士見台支店 (店番015)



富士市富士見台6丁目3番13
0545-21-2141



田子浦支店 (店番016)



富士市川成新町276番地
0545-63-7311



人にやさしい店づくり



補聴器、筆談ボード、ローカウンター、キッズスペース、多機能トイレ、障がいのある方に対応したATM

-  : 貸金庫設置店舗
-  : 全自動貸金庫設置店舗
-  : 夜間金庫設置店舗
-  : AED設置店舗
-  : 昼休み休業(11:30~12:30)導入店舗



窓口営業時間

平日 9:00~15:00

蒲原支店、吉原駅南支店、富士宮東支店は昼休み休業(11:30~12:30)導入店舗

当金庫のATMご利用時間

店舗内ATM	平日	土曜日	日曜日・祝日
各店舗内	7:00~20:00	8:00~19:00	8:00~19:00

店舗外ATM	平日	土曜日	日曜日・祝日
富士市役所	9:00~17:00	—	—
富士市立中央病院	9:00~19:00	9:00~17:00	—
イオンタウン富士南	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
JR名古屋駅(共同)	8:00~21:00	8:00~21:00	8:00~21:00
中部国際空港(共同)	8:00~21:00	8:00~21:00	8:00~21:00

営業地区

富士市、富士宮市、沼津市(旧戸田村を除く)、静岡市(旧庵原郡蒲原町及び由比町のみ)



昭和	13年 8月	吉原町信用販売購買利用組合を設立する
	19年 4月	吉原町農業会を設立する
	23年 1月	吉原町信用販売購買利用組合と吉原町農業会の合併により、吉原町信用利用組合として発足する
	25年 2月	吉原市信用組合に改組する
	26年 9月	富士信用組合を設立する
	26年 12月	鷹岡支店を開設する
	27年 2月	昭和26年制定の信用金庫法により、吉原信用金庫に改組する 初代理事長に山崎宇之助が就任する
	27年 4月	岩松支店を開設する
	28年 4月	昭和26年制定の信用金庫法により、富士信用金庫に改組する 初代理事長に佐野貞作が就任する
	29年 12月	駅南支店を開設する
	33年 7月	富士岡支店を開設する
	35年 6月	蒲原支店を開設する
	36年 6月	今泉支店を開設する
	39年 8月	伝法支店を開設する
	44年 11月	吉原駅南支店を開設する
	46年 4月	旧富士信用金庫と吉原信用金庫の合併により、新たな富士信用金庫となる 同時に会長に佐野貞作、理事長に川島泰作が就任する 旧富士信用金庫本店は富士支店として営業を開始する
	46年 11月	広見町支店を開設する
	47年 11月	富士宮支店を開設する
	49年 3月	厚原支店を開設する
	52年 2月	富士見台支店を開設する
	53年 10月	田子浦支店を開設する
	55年 7月	理事長に佐野熊次郎が就任する
	57年 2月	新本部・本店の建物が青島町に完成し、営業を開始する 旧本店は、吉原支店として営業を開始する
	57年 5月	会長に佐野熊次郎、理事長に山本平八郎が就任する
	59年 12月	富士宮東支店を開設する
	61年 3月	八幡町支店を開設する
	61年 11月	今泉北支店を開設する 森島支店を開設する
	2年 4月	大淵中野支店を開設する
	4年 3月	須津支店を開設する
	7年 5月	中丸支店を開設する
平成	8年 7月	会長に山本平八郎、理事長に山本誠が就任する

	8年 11月	広見町支店を新築移転する
	9年 10月	外国為替公認銀行としての業務を開始する
	10年 3月	蒲原支店を新築移転する
	11年 3月	富士支店を新築する
	12年 3月	本店を増築する
	13年 4月	損害保険窓口販売を開始する
	13年 7月	ふじしんモバイルバンキングサービスを開始する
	13年 12月	ふじしんインターネットバンキングサービスを開始する
	14年 3月	投資信託窓口販売を開始する
	14年 7月	印鑑照合システムの運用を開始する
	14年 10月	50周年記念式典を開催する
	15年 3月	個人向け国債の取扱いを開始する
	15年 6月	今泉北支店を移転する
	16年 12月	決済用預金の取扱いを開始する
	19年 8月	会長に山本誠、理事長に小滝勝昭が就任する
	23年 11月	大淵中野支店を新築移転する
	24年 4月	研修センターを開設する
	24年 7月	岩松支店を新築移転する
	26年 8月	富士宮支店を新築する
	26年 12月	田子浦支店と中丸支店を統合する
	27年 2月	田子浦支店を新築移転する
	28年 4月	森島支店を新築移転する
	29年 12月	蒲原支店を新築移転する
	30年 6月	会長に小滝勝昭、理事長に浅見祐司が就任する
	3年 8月	吉原支店を新築する
	3年 12月	吉原支店と伝法支店を統合する
	4年 4月	吉原支店と今泉北支店を統合する
	5年 5月	富士岡支店を新築する
	6年 1月	鷹岡支店を新築移転する
令和	3年 8月	吉原支店を新築する
	3年 12月	吉原支店と伝法支店を統合する
	4年 4月	吉原支店と今泉北支店を統合する
	5年 5月	富士岡支店を新築する
	6年 1月	鷹岡支店を新築移転する

単体ベースのディスクロージャー項目	
(信用金庫法施行規則第132条等)	
1. 金庫の概況及び組織に関する事項	
(1) 事業の組織	4
(2) 理事及び監事の氏名及び役職名	4
(3) 会計監査人の氏名又は名称	【資料編】5
(4) 事務所の名称及び所在地	27、28
2. 金庫の主要な事業の内容	3
3. 金庫の主要な事業に関する事項	
(1) 直近の事業年度における事業の概況	5、6
(2) 直近の5事業年度における主要な事業の状況	5
① 経常収益	
② 経常利益	
③ 当期純利益	
④ 出資総額及び出資総口数	
⑤ 純資産額	
⑥ 総資産額	
⑦ 預金積金残高	
⑧ 貸出金残高	
⑨ 有価証券残高	
⑩ 単体自己資本比率	
⑪ 出資に対する配当金	
⑫ 職員数	
⑬ 会員数	
(3) 直近の2事業年度における事業の状況	
① 主要な業務の状況を示す指標	【資料編】6、7
ア. 業務粗利益、業務粗利益率、業務純益、実質業務純益、コア業務純益及びコア業務純益(投資信託解約損益を除く。)	
イ. 資金運用収支、役務取引等収支及びその他の業務収支	
ウ. 資金運用勘定並びに資金調達勘定の平均残高、利息、利回り及び資金利鞘	
エ. 受取利息及び支払利息の増減	
オ. 総資産経常利益率	
カ. 総資産当期純利益率	
② 預金に関する指標	【資料編】10
ア. 流動性預金、定期性預金、譲渡性預金その他の預金の平均残高	
イ. 固定金利定期預金、変動金利定期預金及びその他の区分ごとの定期預金の残高	
③ 貸出金等に関する指標	【資料編】10、11
ア. 手形貸付、証書貸付、当座貸越及び割引手形の平均残高	
イ. 固定金利及び変動金利の区分ごとの貸出金の残高	
ウ. 担保の種類別(当金庫預金積金、有価証券、動産、不動産、保証及び信用の区分)の貸出金残高及び債務保証見返額	
エ. 使途別(設備資金及び運転資金の区分)の貸出金残高	
オ. 業種別の貸出金残高及び貸出金の総額に占める割合	
カ. 預貸率の期末値及び期中平均値	
④ 有価証券に関する指標	【資料編】9
ア. 商品有価証券の種類別の平均残高	
イ. 有価証券の種類別の残存期間別の残高	
ウ. 有価証券の種類別の平均残高	
エ. 預証率の期末値及び期中平均値	
4. 金庫の事業の運営に関する事項	
(1) リスク管理の体制	19、20
(2) 法令遵守の体制	21、22
(3) 中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況	15～17
(4) 金融ADR制度への対応	24
5. 金庫の直近2事業年度における財産の状況	
(1) 貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分計算書	【資料編】1～5
(2) 金庫の有する債権のうち	
次に掲げるものの額及びその合計額	【資料編】12
① 破産更生債権及びこれらに準ずる債権	
② 危険債権	
③ 三月以上延滞債権(貸出金のみ)	
④ 貸出条件緩和債権(貸出金のみ)	
⑤ 正常債権	
(3) 自己資本の充実の状況について金融庁長官が定める事項	【資料編】14～24
① 定性的な開示事項	
② 定量的な開示事項	

(4) 次に掲げるものに関する取得価額又は契約価額、時価及び評価損益	【資料編】8
① 有価証券	
② 金銭の信託	
③ 規則第102条第1項第5号に掲げる取引	
(5) 貸倒引当金の期末残高及び期中の増減額	【資料編】12
(6) 貸出金償却の額	【資料編】11
(7) 貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分計算書について	
会計監査人の監査を受けている旨の表示	【資料編】5
6. 報酬等に関する事項	【資料編】5
(参考1) 直近の事業年度における財務諸表の正確性、及び財務諸表作成に係る内部監査の有効性を確認した旨	【資料編】5
(参考2) 退職給付会計に関する開示	【資料編】13

連結ベースのディスクロージャー項目	
(信用金庫法施行規則第133条等)	
1. 金庫及びその子会社等の概況に関する次に掲げる事項	
(1) 金庫及びその子会社等の主要な事業の内容及び組織の構成	【資料編】25
(2) 金庫の子会社等に関する次に掲げる事項	【資料編】25
① 名称	
② 主たる営業所又は事務所の所在地	
③ 資本金又は出資金	
④ 事業の内容	
⑤ 設立年月日	
⑥ 金庫が保有する子会社等の議決権の総株主又は総出資者の議決権に占める割合	
2. 金庫及びその子会社等の主要な事業に関する事項	
(1) 直近の事業年度における事業の概況	【資料編】25
(2) 直近の5連結会計年度における主要な事業の状況を示す指標	【資料編】25
① 経常収益	
② 経常利益	
③ 親会社株主に帰属する当期純利益	
④ 純資産額	
⑤ 総資産額	
⑥ 連結自己資本比率	
3. 金庫及びその子会社等の直近の2連結会計年度における財産の状況に関する事項	
(1) 連結貸借対照表、連結損益計算書及び連結剰余金計算書	【資料編】26～29
(2) 金庫及びその子会社等の有する債権のうち	
次に掲げるものの額及びその合計額	【資料編】27
① 破産更生債権及びこれらに準ずる債権	
② 危険債権	
③ 三月以上延滞債権(貸出金のみ)	
④ 貸出条件緩和債権(貸出金のみ)	
⑤ 正常債権	
(3) 自己資本の充実の状況について金融庁長官が定める事項	【資料編】23、24、30～36
① 定性的な開示事項	
② 定量的な開示事項	
(4) 金庫及びその子法人等が2以上の異なる種類の事業を営んでいる場合の事業の種類ごとの区分に従い、当該区分に属する経常収益の額、経常利益又は経常損失の額及び資産の額として算出したもの	【資料編】27

表紙のご説明

本誌の表紙の写真
第21回 富士山百景写真コンテスト
金賞作品
「春爛漫」



発行 2026年7月
編集 富士信用金庫 経営企画部

〒417-8686 静岡県富士市青島町212番地
TEL:0545-67-8008 FAX:0545-53-2018